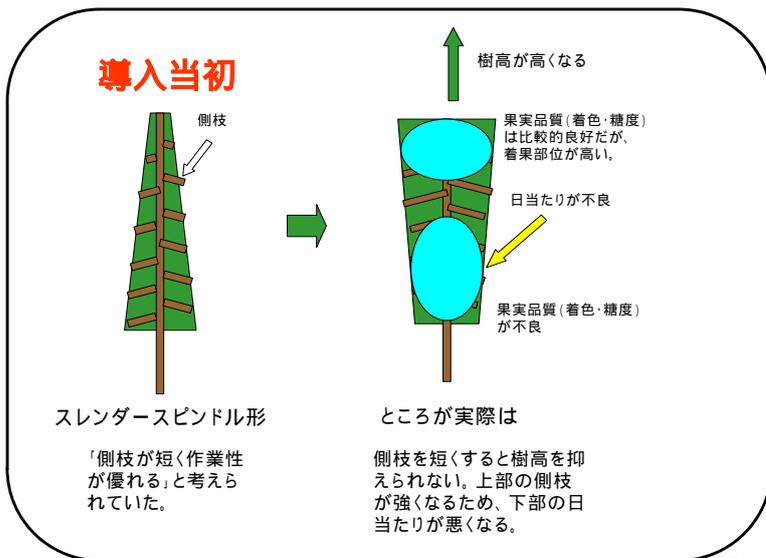
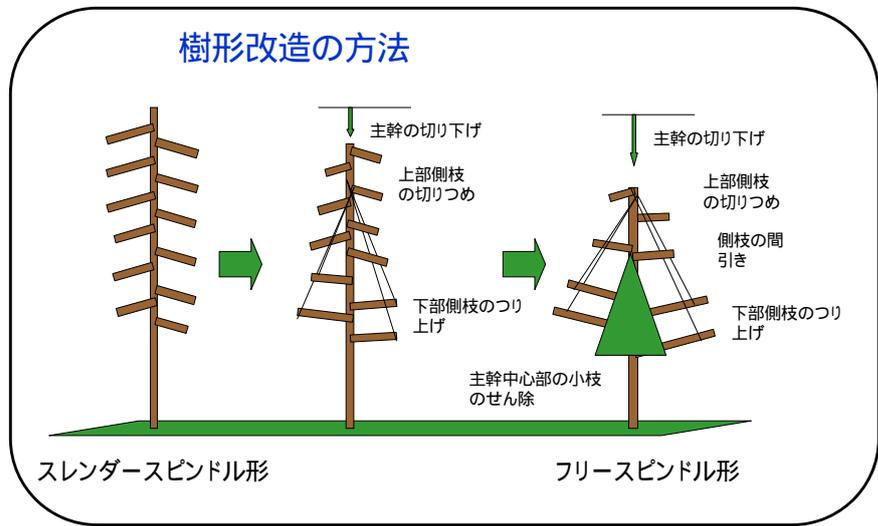


# リンゴの樹形改造による低樹高・高品質化

【背景・目的・成果】 本県にわい性台のリンゴが観光果樹園に導入されてから約25年が経過し、従来の主幹形(スレンダースピンドル形)では樹冠上部の樹勢が強く、樹高が高くなること、樹冠下部の果実品質が不良となることが問題となっていました。そこで、新しい主幹形(フリースピンドル形)を既存園に導入し、樹形改造による低樹高化と高品質化について検討しました。その結果、樹形改造により、低樹高となるだけでなく、収量や果実品質が向上することが明らかとなりました。



樹の内部に光が当たらないため、果実の色が悪い



**樹形改造により**  
樹形改造により樹高が低くなる



果実の着色が向上

【技術の活用】 既存の果樹園に取り入れることで、樹高が低くなり女性や高齢者でも作業がしやすくなります。また、観光果樹園では高い脚立が不要となり、女性や子供でも安心して収穫できます。